（2023年度）部局マネジメントシート

2023年度

部　局	（会計課）	補　職	会計管理者	氏　名	志水　巧

1. 部局の使命

　市の会計事務を統括する組織として、現金、有価証券、物品の出納・保管、現金及び財産の記録管理、決算の調製を担うとともに、各部局の正確かつ迅速な会計事務の遂行を支援することにより、適正で効率的な会計事務の実現を図り、市民の信頼に応えます。

2. 使命を遂行するための取り組み方針と、それに基づく取組みの総括 方針取組みの総括

方針	取組みの総括
(1)適正で効率的な会計事務の推進 　①キャッシュレス決済の進展、オンライン申請などのサービスや業務のデジタル化を踏まえ、会計業務のデジタル化、効率化を図ります。 　②業務知識等の習得や共有を徹底し、当課職員のレベルアップを図ります。また、研修や日々の業務相談等の機会を通じ、各部局の正確かつ迅速な会計事務の遂行を支援します。 (2)公金の安全かつ有利な運用 歳計現金をはじめとする各公金の保管運用について、余裕資金を的確に把握したうえで、安全かつ有利に、また、効率的に運用します。 (3)物品の有効活用 不用車両等物品の有効活用を図り、自主財源の確保につなげます。	(1)適正で効率的な会計事務の推進 　①財務会計システムにおいて電子決裁を導入し、支出命令書等の作成、決裁処理、出納処理等の効率化及びペーパレス化を図りました。また、日付の整合性の自動チェック機能等も加え、ヒューマンエラーの防止を図りました。次年度は各種のデジタル化の対象を拡大します。 　②各部局の会計事務担当職員や決裁者向けにテーマ別に動画研修資料作成し、いつでも自由に聴講できるようにしました。また、新採職員を対象に公会計のしくみを基礎から学べるよう対面研修を行いました。今後も、これらの取組みなどを通じた当課職員の人づくりを進めます。 (2)公金の安全かつ有利な運用 　基金については債券運用戦略に基づき、長期債券（地方債）の保有を積み増しし、安全かつ有利な運用を行いました。次年度以降は、金融政策の変更を踏まえた取組みが課題となります。 (3)物品の有効活用 　不用車両のうち、一般に売却が可能なものについてはインターネットオークションによる売却を行いました。次年度も安定的な実施をめざします。

３．当年度目標と目標設定に対する振り返り等

No	当年度目標（当初設定）	実績	
	取組み事項及びその内容・スケジュール	取組みを行った内容・成果	課題・今後の方向性
1	会計課業務のデジタル化、効率化の推進 (1)財務会計システムにおいて、現在紙ベースで各部局決裁及び会計課審査処理をしている支出命令書等の電子決裁化を行います。あわせて、ヒューマンエラーを防止する機能を組み込み、効率化と適正化の向上を図ります。（重点） 　①システム構築、テスト・修正、操作研修　4月～10月 　②電子決裁の開始　11月 (2)支払処理の効率化のため、振込書払いとなっている通信料金をクレジットによるまとめ払いに切り替えていきます。 　①通信料金の振込書払いの削減率　累計15% (3)備品台帳と現物との照合作業を効率化するため、令和4年度(2022年度)に試験導入した「備品管理アプリ」の拡大を図ります。 　①備品アプリ使用所属数：20所属以上	(1)財務会計システムにおいて電子決裁を開始しました。 電子決裁による効率化と日付の入力間違いなどのヒューマンエラーの防止が図れるとともに、紙の使用量の削減にもつながっています。 (2)通信料金のクレジットまとめ払いを利用する所属を拡大しました。（削減率　累計17%） (3)備品管理数の多い所属を中心に備品管理アプリを利用し、備品管理の効率化を図りました。（利用所属数：22所属）	(1)複雑な支払についても、システム改修を行い、電子決裁の対象を拡大し更なる効率化を図ります。 (2)引き続きクレジットまとめ払いを拡大していきます。 (3)備品管理数の多い所属では一定利用が進んできたため、新たな導入については、備品内容や管理場所などによる利用効果を見極めながら進めていきます。

総合計画

5-2-(1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		

基本政策

64	とよなかデジタル・ガバメントの推進		

<table>
<tr><th rowspan="2">No</th><th>当年度目標（当初設定）</th><th colspan="2">実績</th></tr>
<tr><th>取組み事項及びその内容・スケジュール</th><th>取組みを行った内容・成果</th><th>課題・今後の方向性</th></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>適正な会計事務の執行</td><td rowspan="2">(1)事務分担の見直し、業務ローテーション等により各職員が多くの業務を経験できるようにし、スキルの向上を図りました。
(2)(3)各部局での適正な会計事務の取扱いに向け適宜注意喚起や通知を発出するとともに、新採者や実担者などのレベルに応じた研修を実施しました。</td><td rowspan="2">各部局における会計業務の執行水準の維持向上を図るため、人事異動等による担当者交代や年一回の会計処理など、ヒューマンエラーの起きやすいタイミングを見計らい各種通知の発出やテーマ別の研修を行います。
また、これらの取組みなどを通じた当課職員の人づくりを進めます。</td></tr>
<tr><td>(1)当課職員の財務会計事務にかかるノウハウの共有・業務スキルの向上を図ります。
　①事務分担の見直し、業務ローテーション、各種研修への参加　適宜
　②各部局向けの研修資料作成や講師役を通じたレベルアップ
(2)各部局に向け、研修や会計業務の正確な取扱いにかかる通知の発出を行い、正確な会計事務の遂行を支援します。
　①新規採用者向け基礎研修(6月)、動画視聴による会計事務担当者向けの分野別基本・実務研修(4～5月・随時受講可)
　②「会計業務のお知らせ」をはじめとする各種通知を発出　適宜通知
(3)内部統制における評価業務を通じ、各部局における会計事務の適正な執行体制の構築を支援します。
　①中間(11月)及び最終(5月)の評価業務(不備事項の改善等の支援)
　②不備の原因の分析、適正施行に係る啓発　評価後ほか適時実施</td></tr>
</table>

総合計画

5-2-(1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		

基本政策

0			

<table>
<tr><th rowspan="2">No</th><th>当年度目標（当初設定）</th><th colspan="2">実績</th></tr>
<tr><th>取組み事項及びその内容・スケジュール</th><th>取組みを行った内容・成果</th><th>課題・今後の方向性</th></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>効果的かつ効率的な基金の運用</td><td rowspan="2">定期預貯金による運用については5月から開始するとともに、長期運用については安全性が高く国債より利回りの良い地方債の購入を行いました。（運用累計9億円）</td><td rowspan="2">長期運用については引き続き地方債等を購入していきます。短期の定期預金による運用については、マイナス金利の解除に伴う金利引き上げの動向を注視しつつ、金融機関の分散を図るなど安全性にも配慮した運用を行います。</td></tr>
<tr><td>(1)超低金利の状況下、1年未満の短期運用についてはリスク分散と事務効率の観点も踏まえ、運用を行います。長期運用については、「債券運用戦略」に基づき、毎年度債券による運用額を積み増しし、利子収入の増加を図ります。
　①定期預貯金等への預け入れ(1年未満)　5月～6月開始
　②債券の購入　随時　　運用目標：累計9億円</td></tr>
</table>

総合計画

5-2-(1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		

基本政策

63	財務基盤の強化		

<table>
<tr><th rowspan="2">No</th><th colspan="2">当年度目標（当初設定）</th><th colspan="2">実績</th></tr>
<tr><th colspan="2">取組み事項及びその内容・スケジュール</th><th>取組みを行った内容・成果</th><th>課題・今後の方向性</th></tr>
<tr><td rowspan="9">4</td><td colspan="2">物品の有効活用

(1)不用物品の種類等に応じ、効果的・効率的な売却方法を選択し、歳入確保を図ります。車両については状態や市況等を見極めながらインターネットオークションによる売却を行います。
①不用物品売却　随時
②次年度の売却予定物品の把握　1月～3月</td><td>(1)一般に売却可能な車両についてはインターネットオークションによる売却を行いました。（2台）</td><td>(1)インターネットオークションには、中古車販売の専門業者だけではなく、取引に不慣れな個人や一般の事業者なども参加するため、入札条件、手続き等について丁寧な説明をするとともに、取引の安定性や効率性の向上に努め、引き続き同オークションによる売却を継続していきます。</td></tr>
<tr><td colspan="4">総合計画</td></tr>
<tr><td>5-2-（1）</td><td>公正で効果的・効率的な市政運営を進めます</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="4">基本政策</td></tr>
<tr><td>63</td><td>財務基盤の強化</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

４．中期目標（概ね今後4年間）

No	取組み事項及び取組みにあたっての課題・めざす成果など			スケジュール（工程）
1	公金の安全かつ有利な運用 (1)定期預貯金については、超低金利の状況下で預入先が限定されるため、リスク分散の観点から歳計現金、基金等の公金の性質に応じて最適な運用の種類及び運用先を選択し、安全面とのバランスに注意のうえ運用を行います。 (2)積立基金については、「債券運用戦略」に基づき、財政課と調整の上、債券による長期運用を一定額まで増やし、利子収入の増加を図ります。			(1)新たなリスク管理の視点を組み入れた定期預貯金運用の開始 令和4年度(2022年度)から (2)毎年度債券を3億円ずつ購入し、令和12年度(2030年度)に保有残高30億円のポートフォリオを構築　継続して実施
	総合計画			
	5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
	基本政策			
	0			
2	適正で効率的な会計業務の推進 (1)公金の納付におけるキャッシュレス決済の拡大、令和5年度(2023年度)から開始される地方税納付書のQRコード化等、納付及び収納環境の変化にあわせ、指定金融機関委託業務の再構築に取り組みます。 (2)財務会計システムの電子決裁化を進めるとともに、電子請求書への対応(データの連動)等についても研究を進めていきます。			(1)納付のキャッシュレス化による窓口納付割合の変化を踏まえた指定金融機関派出所窓口業務の見直し　継続して実施 (2)①財務会計システムの電子決裁化　令和5年度(2023年度) ②電子請求書データの連動についての研究　継続して実施
	総合計画			
	5-2- (1)	公正で効果的・効率的な市政運営を進めます		
	基本政策			
	64	とよなかデジタル・ガバメントの推進		